

「パンガー県における脆弱なコミュニティの子供のための校舎新築計画」



新校舎



新校舎

<p>実施団体</p>	<p>教育開発財団 Foundation for Education and Development</p>
<p>プロジェクトサイト</p>	<p>パンガー県</p>
<p>供与金額</p>	<p>3,780,000バーツ</p>
<p>分野</p>	<p>教育、移民</p>
<p>背景</p>	<p>教育開発財団は、Unified Learning Center (ULC校)において、ミャンマー教育省が認可したカリキュラムをミャンマーからの移民児童に向けて提供している。ULC校では、就学前教育(3歳未満～6歳)、小学校(6学年、7歳～12歳)、中学校(2学年、13歳～14歳)までを対象にしているが、中学校2年生までの教育を修了しただけでは就職することができないため、他の学校に進学せざるを得ない。そこで、被供与団体は就職可能な高校1年生修了までの教育機会拡充を計画したが、現在の教室数では、キャパシティーが足りず実施出来ていない。また、新型コロナウイルスの感染拡大のために、ソーシャルディスタンスを確保する必要があり、3歳未満の児童のクラスは、十分な距離をとる事ができず、閉鎖することになった。</p> <p>この状況に加え、ミャンマーの国内情勢が緊迫したため、タイに残るミャンマー人移民労働者が増え、被供与団体への入学希望者が増加し、クラスの受け入れ可能人数を超えてしまったことから、食堂や図書館を閉鎖して教室に代用している。</p>
<p>支援内容</p>	<p>2階建て校舎1棟</p>
<p>期待される効果</p>	<p>教育開発財団 ULC校に新校舎を建設することで、高校1年生修了までの教育、また図書館や食堂、幼稚園の目的どおりの利用を可能にし、国籍や出身地域に関わらず平等に、安全かつ適切な環境の下、児童・生徒の教育の質の向上が期待される。</p>